

研究発表の日程 —10月24日（水）午後—

第 1 会場

事務部門（広報・広聴①） 13:00～14:30（計6題） 座長：東京経済大学教授 青木 亮	
1-1	企業団広報誌みずき便りを活用した広報の手法 神奈川県内広域水道企業団 森山 潤
1-2	近年の吹田市における水質相談～水道使用者からの相談事例紹介～ 吹田市水道部 伊藤 慎也
1-3	芦屋川の浜流水を使ったビールの共同研究～共同研究による広報活動のあり方～ 芦屋市上下水道部 河野 優人
1-4	横浜水道局のCS向上に関する施策体系の構築 横浜水道局 江藤 知恵子
1-5	「横浜のおいしい水」検定を通じた水道事業のPR活動 横浜水道局 鈴木 清貴
1-6	中学生時の運動部加入が水道水の飲用嗜好に与える影響 東京都市大学 長岡 裕
事務部門（広報・広聴②） 14:35～16:05（計6題） 座長：近畿大学教授 浦上 拓也	
1-7	集客と理解の両立を目指した仕事体験イベント「チャレンジ！ウォーターミッション」の開催～ 神戸市水道局 平野 陽子
1-8	持続可能な水道事業のための広報ツール「水道ゲーム」の開発 大阪広域水道企業団 杉野 学
1-9	広報参加型研修による広報活動と人材育成の融合 新潟市水道局 児玉 利幸
1-10	長浜浄水場広域施設の開場～充実した水環境学習へ向けて～ 川崎市上下水道局 山本 真生
1-11	「サイエンス」を通じた子供達への水道広報 京都市上下水道局 松岡 英彰
1-12	「びわ湖疏水船」本格運航～広域・公民連携による明治期の水道遺産の活用～ 京都市上下水道局 千原 啓太郎
事務部門（情報システム） 16:10～17:25（計5題） 座長：東洋大学教授 石井 晴夫	
1-13	運営効率化と安定供給に寄与するICT活用運転維持管理（Ⅱ） 日立製作所 栗橋 宏充
1-14	標的型メール攻撃訓練を活用した職員の危機意識及び対応能力底上げへの取組 東京都水道局 山口 翔平
1-15	GISの高度化利用と統合台帳システム運用における改良点の報告 タチバナコンサルタンツ 泉野 玲似
1-16	欧州の水道事業におけるICTの活用及びサイバーセキュリティ対策の取組 千葉県水道局 鹿渡 翔平
1-17	持続可能な経営環境を整えるための50年取次システム ～いつでも、誰でも、簡単に～ 宇都宮市上下水道局 稲村 武

10月24日（水）午後 計17題

第 2 会場

水源・取水部門（水質障害・監視①） 13:00～14:00（計4題） 座長：東京農工大学教授 細見 正明	
3-1	利根川・荒川におけるカビ臭物質濃度の季節変動 埼玉県企業局 山内 康正
3-2	道志川におけるかび臭の発生と水源調査 横浜市水道局 瓜生 智
3-3	多摩川上流におけるかび臭発生藍藻に関する調査～ Phormidium autumnaleの分布状況及び生育特性～ 東京都水道局 國府田 知之
3-4	紀の川（吉野川）上流域におけるかび臭発生状況の推移～ 最近10年間の調査結果に基づく報告～ 奈良県水道局 山口 洋徳
水源・取水部門（水質障害・監視②） 14:05～15:05（計4題） 座長：関東工业大学教授 西村 和之	
3-5	水道統計における原水濁度データの解析 福岡大学大学院 楊 壽
3-6	淀川下流域に設置した油臭センサーの運用 大阪広域水道企業団 山田 一貫
3-7	矢切取水場における魚卵流下傾向に及ぼす河川流量の影響 千葉県水道局 西井 淳雄
3-8	酒匂川流域における流況の時事変化と水源水質管理 神奈川県内広域水道企業団 谷川 拓哉
水源・取水部門（水源・流域特性） 15:10～16:40（計6題） 座長：東北大学大学院教授 西村 修	
3-9	森林土壌におけるマンガンおよび全リンと貯水池の流域特性に関する一考察 首都大学東京大学院 小林 将之
3-10	千期貯水池上流域からの流入負荷量調査 神戸市水道局 上城 博宣
3-11	3次元レーダーチャートを用いた小河内集水域の総合評価 首都大学東京 西崎 陸
3-12	愛知県営水道における水源域地図の策定 愛知県企業庁 谷口 修太
3-13	みんなで作る水源の森実施計画～ 多摩川上流域の水道水源林における新たな取組～ 東京都水道局 小川 萌菜
3-14	企業と連携した取組「東京水道～企業の森（ネーミングライツ）」 東京都水道局 真野 佑亮

10月24日（水）午後 計14題

第 3 会場

給水装置部門（給水材料等） 13:00～14:00（計4題） 座長：東京都市大学教授 長岡 裕	
6-1	給水システム協会規格 WSA B011「水道用ポリエチレン二層管金属継手」の耐震性能項目の検証 給水システム協会 中山 歳久
6-2	水道用ポリエチレン二層管用ワンタッチ式耐震強化型継手の開発 前澤給装工業 金子 晃
6-3	水道用ポリエチレン二層管金属継手の開発～ 耐震性能強化型への対応～ 日邦バルブ 丸山 晃市
6-4	防食コアと防食コアの挿入工法に関する一考察 タケテ 清水 彰人
給水装置部門（鉛管・地震関係） 14:05～15:05（計4題） 座長：関東学院大学教授 吉田 望	
6-5	鉛製給水管の早期解消への取組み 多賀城市上下水道部 梶田 光吉
6-6	地震時における給水用高密度ポリエチレン管の耐震性評価（Ⅱ）～ 管軸方向の性能評価～ 積水化学工業 鈴木 剛史
6-7	熊本地震給水装置被害状況調査の報告 給水工事技術振興財団 堀田 伸介
6-8	給水装置工事における指定管種の変更による耐震性の向上 横浜市水道局 武村 盛史
給水装置部門（研究・技術開発） 15:10～16:10（計4題） 座長：放送大学教授 岡田 光正	
6-9	水道用ライニング鋼管の経年変化調査結果 日本水道鋼管協会 大槻 博史
6-10	給水栓のニッケル浸出試験結果の解析 水戸市水道部 中村 優志
6-11	流体解析を活用した金属製止弁付メータパッキンの形状と圧力損失との関係性評価 栗本商事 南 潤基
6-12	新型分水栓の共同研究～ 新型分水栓のフィールドテストを通じた給水装置システムの耐震性向上策の模索～ 富田林市上下水道部 大津 浩司

10月24日（水）午後 計12題

第 4 会場

計画部門（再構築（管路）） 13:00～14:00（計4題） 座長：一橋大学大学院教授 大瀧 友里奈	
2-16	水需要の減少に応じた水道システムの再構築～ 志賀地区配水管整備事業～ 大津市企業局 市井 大生
2-17	水道施設再構築基本計画に基づく配水管網整備方針の検討 さいたま市水道局 落合 裕樹
2-18	増加する管路更新のための新たな管路DB方式～ 一試行による検証～ 秩父広域市町村圏組合 吉屋敷 光芳
2-19	水道施設の整備計画の策定～ 重点施策 管路耐震化促進、緊急10ヵ年計画 大阪市水道局 滝江 拓輝
計画部門（再構築（施設）） 14:05～15:35（計6題） 座長：北海道大学公共政策大学院教授 石井 吉春	
2-20	TX 沿線まちづくり事業に併せた流山市水道の再構築～ 浄水施設等の更新とコスト縮減～ 流山市上下水道局 小林 康平
2-21	事業の効率性と供給の安定性の向上を目指した水道施設再編計画の検討事例 日水コン 吉村 尚倫
2-22	配水施設統合の取組み～ 県営水道と各市町の連携～ 神奈川県企業局 小林 大育
2-23	施設更新計画策定の必要性～ 登米市施設更新計画策定の報告（Ⅰ）～ 登米市水道事業所 佐藤 和哉
2-24	登米市施設更新計画策定委員会～ 登米市施設更新計画策定の報告（Ⅱ）～ 登米市水道事業所 羽生 芳文
2-25	登米市施設更新計画策定から「経営戦略」の策定～ 登米市施設更新計画策定の報告（Ⅲ）～ 登米市水道事業所 千葉 智浩
計画部門（各種データ解析） 15:40～16:55（計5題） 座長：福岡市水道局浄水部長 近藤 隆司	
2-26	水道統計データを用いた想定漏水量及び有取率算出の一手法 アニア航測 谷口 靖博
2-27	数値化モデルを用いた使用水量原単位の変動要因分析 首都大学東京大学院 佐藤 友希乃
2-28	WEBアンケート調査による使用水量と水利用状況の把握 立命館大学 清水 聡行
2-29	浄水場の更新事例分析に基づく更新計画策定時の留意点 NJS 栗原 浩二
2-30	確率論的アプローチによる水需要マネジメント～ ベトナム国ハノイ市における節水型トイレ導入の効果～ 一橋大学 大瀧 友里奈

10月24日（水）午後 計15題

- 第 1 会場……………福岡国際会議場 501会議室
- 第 2 会場……………福岡国際会議場 502会議室
- 第 3 会場……………福岡国際会議場 503会議室
- 第 4 会場……………福岡国際会議場 401・402・403会議室
- 第 5 会場……………福岡国際会議場 404・405・406会議室
- 第 6 会場……………福岡国際会議場 409・410会議室
- 第 7 会場……………福岡国際会議場 411・412会議室
- 第 8 会場……………福岡国際会議場 413会議室
- 第 9 会場……………福岡国際会議場 414会議室

第 5 会場

浄水部門（凝集・沈澱①）

13:00～14:15（計5題）

座長：福山市立大学教授

題号	題目	発表者	所属
4-40	STR を指標とした浄水処理の最適化検討 — 塩基度の異なる PAC を使用した浄水処理—	小川 正俊	水道機工
4-41	原水・浄水処理方法が異なる3系統の処理比較 — 天竜川を水源とした凝集剤の比較—	竹田 俊介	浜松市上下水道部
4-42	高塩基度 PAC の適用性評価実験 — 神奈川県内広域水道企業団—	入倉 真紀	神奈川県内広域水道企業団
4-43	低水温、低濁度における高塩基度 PAC と二段凝集の検討 — 東芝インフラシステムズ—	松本 将太	東芝インフラシステムズ
4-44	高塩基度 PAC による浄水処理試験 — 君津広域水道企業団—	濱島 秀一	君津広域水道企業団

浄水部門（凝集・沈澱②）

14:20～15:35（計5題）

座長：東北学院大学教授

題号	題目	発表者	所属
4-45	低濁度原水への高塩基度 PAC 適用事例 — 豊中市上下水道局—	井上 慧	豊中市上下水道局
4-46	地下水及び表流水への高塩基度 PAC 注入による浄水中のアルミニウム濃度の低減及び凝集効果の確認 — 吹田市水道部—	山田 育美	吹田市水道部
4-47	沈澱池傾斜管頂部に堆積するスラッジの抑制・除去および凝集剤の比較検証 — 沖縄県企業局—	福井 克人	沖縄県企業局
4-48	脈動形高速凝集沈澱池における水質改善方法の検討 — 一沈澱池傾斜板の効果確認—	久留米市企業局 國武 聖登	久留米市企業局
4-49	凝集沈澱砂ろ過における微粉炭の残留性低減方法 — 攪拌強度と凝集剤の適正化—	北海道大学院 中沢 禎文	北海道大学院

浄水部門（凝集・沈澱③）

15:40～16:40（計4題）

座長：関東学院大学准教授

題号	題目	発表者	所属
4-50	尾崎水源地（浄水場）における凝集剤比較 — データベース—	菅原 一貴	尾崎水源地
4-51	水源地での水質事故を想定した重金属類の除去実験 — 川崎市上下水道局—	眞鍋 晋	川崎市上下水道局
4-52	小笠原村扇浦浄水場の移転更新に伴う凝集処理の要因変化 — 首都大学東京大学院—	山崎 公子	首都大学東京大学院
4-53	流動電流計（Streaming Current Monitor: SC 計）とマイクロブロック（MF）のポテンシャルエネルギー（PE）制御 — 特別会員—	山崎 満佳	特別会員

10月24日（水）午後 計14題

第 6 会場

導・送・配水部門（管路管理①）

13:00～14:15（計5題）

座長：首都大学東京大学院特任教授

題号	題目	発表者	所属
5-1	水道管内カメラ調査による既設管内面の評価分析 — 首都大学東京大学院—	國實 善治	首都大学東京大学院
5-2	インドネシアにおける夾雑物の発生と水質への影響 — 京都大学—	山岡 暁	京都大学
5-3	残塩管理における塩素消費シミュレーションの活用事例 — 横浜市水道局—	松澤 裕起	横浜市水道局
5-4	配水管網における管内環境の形成過程とその制御性 — 京都大学大学院—	岸本 如水	京都大学大学院
5-5	飲料水供給施設における配水管内環境の制御方法 — 京都大学大学院—	福岡 早紀	京都大学大学院

導・送・配水部門（管路管理②）

14:20～15:50（計6題）

座長：金沢大学大学院教授

題号	題目	発表者	所属
5-6	自動検水機能付水質モニターを組合せた複合的検水削減対策 — 人口減少社会に適した形態への転換を考えた有収率向上対策—	八戸圏域水道企業団 上野 光弘	八戸圏域水道企業団
5-7	豪雨による護岸道路崩壊で露出したダクタイル管の健全性の検証 — 松山市公営企業局—	三原 正幸	松山市公営企業局
5-8	ダクタイル鉄管の長期耐久性の検証 — 粉体塗装、ゴム輪、ポリエチレンリブの調査—	日本ダクタイル鉄管協会 飯出 淳	日本ダクタイル鉄管協会
5-9	弁検類の効果的な維持管理と配水本管の弁室内土没対策の検討 — さいたま市水道局—	深谷 伸之	さいたま市水道局
5-10	宅地造成地におけるボルト・ナットの腐食要因に関する調査 — 新潟市水道局—	酒井 仁	新潟市水道局
5-11	送配水本管路線名称分岐図集の改定 — 千葉県水道局—	越智 大介	千葉県水道局

導・送・配水部門（腐食・防食）

15:55～17:25（計6題）

座長：横浜国立大学客員教授

題号	題目	発表者	所属
5-12	電気防食効果のフィールド検証 — 横浜須賀川上下水道局—	進井 学	横浜須賀川上下水道局
5-13	遠走電流がシールド内配管に及ぼす影響に関する調査・研究 — 東京都水道局—	村山 聖	東京都水道局
5-14	橋梁に添架されたステンレス鋼管が周辺環境から受ける影響とその対策 — 広島市水道局—	岡崎 裕	広島市水道局
5-15	高周波交流電圧探査比抵抗調査を用いた水道管の埋設環境評価 — 富士市における実施事例—	NIS 下川 貴司	NIS
5-16	弁室を活用した簡易土壌腐食性評価法を用いた効率的な管体調査箇所選定に関する検討 — 川越市上下水道局—	平井 治人	川越市上下水道局
5-17	統計データに基づく鑄鉄製管の寿命予測法の検討と海成粘土層が周辺土壌に及ぼす影響の評価 — クボタ—	川勝 智	クボタ

10月24日（水）午後 計17題

第 7 会場

導・送・配水部門（管路更新①）

13:00～14:30（計6題）

座長：首都大学東京大学院准教授

題号	題目	発表者	所属
5-54	φ500ポリエチレン管による管路更生工法 — 福知山市上下水道部—	土井 智礼	福知山市上下水道部
5-55	工事の効率化と漏水リスクの低減を目的とした管路更新の取り組み — 矢巾町上下水道課—	照井 義秀	矢巾町上下水道課
5-56	地下空間を有効利用した推進工事における水道管挿入工事 — タクティル鉄管 PN 形呼び径400・500×3条—	静岡市上下水道局 切石 貴之	静岡市上下水道局
5-57	管路の更新基準年数の設定 — 諫早市上下水道局—	平山 貴規	諫早市上下水道局
5-58	LCC-GA モデルによる送水管路システムの更新計画 — 一口径選択の妥当性検証—	首都大学東京大学院 長谷川 高平	首都大学東京大学院
5-59	故障履歴を用いたダクタイル鑄鉄管耐用年数の算出結果と今後の検証 — 函館市企業局—	伊藤 健	函館市企業局

導・送・配水部門（管路更新②）

14:35～15:50（計5題）

座長：首都大学東京特任教授

題号	題目	発表者	所属
5-60	仮配管向け T 字管撤去工法の開発 — コスモ工機—	亀井 輝男	コスモ工機
5-61	都心部における大口径管路更新報告 — 東京都水道局—	木村 昭一	東京都水道局
5-62	新設管施工困難箇所における SDF 工法の採用 — 東京都水道局—	田中 健太郎	東京都水道局
5-63	老朽管更新事業における NS 形 E 種管の採用 — 香春町住宅水道課—	松本 健次郎	香春町住宅水道課
5-64	既存水道施設近接下における大規模更新工事の施工留意点 — 東京都水道局—	島田 武	東京都水道局

導・送・配水部門（バルブ他）

15:55～17:10（計5題）

座長：立命館大学教授

題号	題目	発表者	所属
5-65	キャビテーション解析を用いたバタフライ弁の弁体形状の改良 — クボタ—	本郷 卓也	クボタ
5-66	伸縮機能を持った偏心構造弁の性能評価 — 春輝工業—	臼井 春範	春輝工業
5-67	大口径バルブの破損に伴う原因調査と再発防止に向けた対応 — 横浜市水道局—	土屋 潤平	横浜市水道局
5-68	耐震補修弁の開発（Ⅱ） — 付属設備としての耐震性の検証—	清水合金製作所 興竹 賢二	清水合金製作所
5-69	既設水道用ソフトシール仕切弁における弁体ゴムの機能評価 — 川崎市上下水道局—	村川 恒彦	川崎市上下水道局

10月24日（水）午後 計16題

第 8 会場

水質部門（消毒副生成物①）

13:00～14:15（計5題）

座長：首都大学東京准教授

題号	題目	発表者	所属
8-1	前塩素注入の有無とトリハロメタン生成量の関係 — 北千葉広域水道企業団—	豊田 大晃	北千葉広域水道企業団
8-2	水道水中ヨウ素化トリハロメタンの全国実態調査 — 埼玉県企業局—	牛江 裕行	埼玉県企業局
8-3	高水温期の塩素注入点の違いによる消毒副生成物濃度の変化 — 埼玉県企業局—	栗原 夏美	埼玉県企業局
8-4	3次元蛍光光度計を用いた蛍光性溶存有機物の挙動の把握 — 沖縄県企業局—	兼城 貴司	沖縄県企業局
8-5	浄水の加熱によるトリハロメタン最大生成能試験法による調査 — 川崎市上下水道局—	仲田 義信	川崎市上下水道局

水質部門（消毒副生成物②）

14:20～15:35（計5題）

座長：京都大学大学院准教授

題号	題目	発表者	所属
8-6	マンガン砂による消毒副生成物の低減効果 — 広島市水道局—	加登 優樹	広島市水道局
8-7	消毒副生成物の低減化に向けた調査 — 愛知県企業庁—	佐藤 貴文	愛知県企業庁
8-8	ラジド藻類がハロ酢酸濃度に与える影響評価 — 京都市上下水道局—	横井 貴大	京都市上下水道局
8-9	全国における塩素酸の存在実態とその要因 — 最新の国際的動向を踏まえた解析—	国立保健医療科学院 鈴木 知美	国立保健医療科学院
8-10	小規模水供給システムへの導入を考慮した塩素系消毒剤の反応特性の比較 — 仙台市水道局—	阿部 功介	仙台市水道局

水質部門（かび臭・活性炭）

15:40～17:10（計6題）

座長：山梨大学大学院准教授

題号	題目	発表者	所属
8-11	裾花ダム湖において発生した藍藻類 <i>Anabaena</i> 属への対応と <i>Anabaena</i> 休眠細胞の生理生態 — 長野市上下水道局—	矢島 悠一	長野市上下水道局
8-12	シアノバクテリア蛍光光度計による原水監視 — 京都市上下水道局—	竹田 昇雄	京都市上下水道局
8-13	韓国の河川における Geosmin と 2-MIB の残留分布特性及び水質管理 — 韓国水資源公社—	金 倫碩	韓国水資源公社
8-14	上向流式生物接触ろ過施設による高濃度カビ臭物質の除去 — 北九州市上下水道局—	陣矢 大助	北九州市上下水道局
8-15	高機能活性炭の実証試験に向けた要求性能の選定と試験方法の条件検討 — 仙台市水道局—	林 拓実	仙台市水道局
8-16	粉末活性炭の評価に関する調査 — 京都市上下水道局—	大原 文幸	京都市上下水道局

10月24日（水）午後 計16題

第 9 会場

リスク管理・災害対策部門（危機管理・テロ対策）

13:00～14:00（計4題）

座長：東京大学大学院准教授

題号	題目	発表者	所属
9-1	首都東京における PDCA サイクルを活用した危機対応力強化 — 東京都水道局—	武井 明彦	東京都水道局
9-2	東京2020大会に向けたテロ対策強化 — 東京都水道局—	花田 健太	東京都水道局
9-3	金町浄水場における侵入者対策の取組 — 東京都水道局—	木下 隆子	東京都水道局
9-4	柏井浄水場西側沈澱池等への覆蓋設置の取組 — 千葉県水道局—	金杉 高志	千葉県水道局

リスク管理・災害対策部門（被害予測・危機管理①）

14:05～15:35（計6題）

座長：帝京平成大学教授

題号	題目	発表者	所属
9-5	水管橋への津波の波力の影響評価に関する報告 — 名古屋市上下水道局—	梶原 大輔	名古屋市上下水道局
9-6	水道施設における浸水対策検討方法の考察 — 日本ココン—	金子 飛翔	日本ココン
9-7	管路事故のリスク管理 — 福島市水道局—	小山 和哉	福島市水道局
9-8	モバイルマッピングシステム導入による漏水事故等緊急時の迅速性・柔軟性向上 — 北広島市水道部—	大屋 光平	北広島市水道部
9-9	流量データ異常の早期発見に向けた変化量検定機能の開発 — 横浜市水道局—	齋藤 公平	横浜市水道局
9-10	空き家における寒波対策 — 新潟市水道局—	三上 謙一	新潟市水道局

リスク管理・災害対策部門（被害予測・危機管理②）

15:40～17:10（計6題）

座長：国立環境研究所首席研究員

題号	題目	発表者	所属
9-11	水道施設耐震化計画の検討 — 静岡市上下水道局—	定免 徹	静岡市上下水道局
9-12	地盤変状データを用いた FEM 解析による鎖橋造管路挙動検証に関する一考察 — 栗本鐵工所—	森本 皓一	栗本鐵工所
9-13	地震被害関数をを用いた水道管の離散的被害予測手法の検討 — 名古屋大学大学院—	岡野 泰己	名古屋大学大学院
9-14	緊急時の迅速な復旧活動の考察 — OODA（ウーグ）に基づく対応—	熊本市上下水道局 佐藤 智洋	熊本市上下水道局
9-15	危機対応訓練事例 — 非常用発電機を用いた送水訓練—	埼玉県企業局 矢崎 正也	埼玉県企業局
9-16	仙台市における震災対策情報発信プロジェクトの取組み — 仙台市水道局—	佐藤 康浩	仙台市水道局

10月24日（水）午後 計16題

研究発表の日程 —10月25日（木）午前—

第 1 会 場

第 2 会 場

第 3 会 場

第 4 会 場

シンポジウム (9:00~10:30)

計画部門（広域（化）連携） 10:50~12:20（計6題） 座長：東京大学大学院教授	浄水部門（高濁度原水対応） 10:50~11:50（計4題） 座長：石巻専修大学教授	給水装置部門（直結給水・貯水槽水道） 10:50~11:50（計4題） 座長：北海道大学大学院教授	計画部門（アセットマネジメント） 10:50~12:05（計5題） 座長：九州大学大学院准教授
2.1 岩手中部水道企業団統合5年目の効果分析と外部評価の実施 —定量的分析及び定性的分析による評価— 岩手中部水道企業団 菊池 明敏	4.5 九州北部豪雨における浄水処理への対応 福岡県南広域水道企業団 青木 綾佑	6.13 増圧ポンプの運転に伴う給水装置内の水圧変動に関する実験 京都市上下水道局 近藤 章貴	2.31 ダウンサイジングを考慮したアセットマネジメント計画 —職員による管路更新計画の策定— 越谷・松伏水道企業団 中村 卓志
2.2 広域化における水道用水供給事業の役割 —「兵庫県水道事業のあり方懇話会」最終報告を受けて— 兵庫県企業庁 恒松 武	4.6 脈動形高速凝集沈澱池における高分子凝集剤の効果 —高濁度原水に対する効果の検討— オルガノ 福水 圭一郎	6.14 大規模な直結増圧給水化への対応（事例報告） 神戸市水道局 竹田 勝	2.32 焼津市水道事業におけるアセットマネジメント手法の活用 焼津市水道部 山田 暁子
2.3 水道広域化（事業統合）による経営基盤強化の検討 東京設計事務所 横山 徳孝	4.7 三戸市における高濁度時の対応 水機テクノス 工藤 雅友	6.15 集合住宅における水撃と水道メーターの挙動 光明製作所 尾関 隆佑規	2.33 焼津市水道事業における管路耐震化・更新計画 —投資効果と管路区分の細分化による計画策定の一事例— 東京設計事務所 下田 佑貴
2.4 大阪広域水道企業団と泉南市、阪南市、豊能町、能勢町、忠岡町、田尻町、岬町との水道事業の統合に係る検討、協議 —統合によるメリットの検討手法— 大阪広域水道企業団 辻中 孝信	4.8 吉野川水系高濁度時原水の簡易ジェネリストと薬品注入早見表の有効性 石垣メンテナンス 山口 章	6.16 貯水槽水道における安全な受水槽流入量抑制方法の検討 —ダウンサイジングも見据えた流入量抑制— フジ地中情報 川上 智彦	2.34 管路網の最適アセットマネジメント —配水支管網ブロックを形成する管路の口径適正化— 大阪市水道局 宮崎 卓
2.5 水道事業における広域化と官民連携の実践事例 —群馬東部水道企業団「事業運営及び拡張工事等包括事業」— 明電舎 月足 圭一	10月25日（木）午前 計4題		2.35 水道電気設備におけるアセットマネジメントの動向・課題と提言 日立製作所 濱田 真樹
2.6 香川県広域水道企業団の始動 —業務の統一化と運営基盤強化に向けた企業団本部の役割— 香川県広域水道企業団 金子 瞳	10月25日（木）午前 計6題		10月25日（木）午前 計5題

第 5 会 場

第 6 会 場

第 7 会 場

第 8 会 場

第 9 会 場

シンポジウム (9:00~10:30)

浄水部門 (高度浄水処理①) 10:50~12:05 (計5題) 座長: 岐阜大学教授	導・送・配水部門 (管路技術①) 10:50~12:05 (計5題) 座長: 千葉大学大学院准教授	導・送・配水部門 (管路運用①) 10:50~12:20 (計6題) 座長: 首都大学東京大学院准教授	水質部門 (化学物質の存在実態・処理性) 10:50~12:20 (計6題) 座長: 関東学院大学准教授	リスク管理・災害対策部門 (被害予測・危機管理③) 10:50~12:20 (計6題) 座長: 東京大学大学院准教授
李 富生	丸山 喜久	荒井 康裕	鎌田 素之	片山 浩之
4-54 多々良高度処理における臭素酸濃度予測方法の検討 福岡市水道局	5-18 急速空気弁の現地補修における補修弁の漏れ量測定方法の考案 栗本鐵工所	5-70 内径1.650mm 社家-伊勢原間導水連絡管の運用実績 神奈川県内広域水道企業団	8-17 飲料水中の揮発性有機化合物 (VOC) における未規制物質等の存在実態調査 東京都健康安全研究センター	9-17 危機管理訓練による対策本部のあり方の検討事例 日水コン
福山 公皓	有村 花澄	石橋 晋作	立石 恭也	瀬川 奈未
4-55 生物処理装置における馴養期間短縮方法の実施例 ナガオカ	5-19 シールド内配管用新耐震型ダクタイル鉄管 (US 形 R 方式) の研究 クボタ	5-71 高尾山地区における安定給水の確保-管網解析ソフトによる系統変更シミュレーション- 東京水道サービス	8-18 比謝川流域における有機フッ素化合物調査 沖繩県企業局	9-18 利根川・荒川水道事業者合同事故訓練 東京都水道局
渡里 哲平	伊東 一也	渡邊 憲郎	石嶺 孝児	青木 竜馬
4-56 村野浄水場の浄水処理フローの変更に伴う高圧ろ過の検討 大阪広域水道企業団	5-20 ダクタイル鉄管を用いた水道工事の方法に関する一考察 クボタ	5-72 電動コーン弁と機械式減圧弁の組合せによる水圧調整の実施 松山市公営企業局	8-19 粒状活性炭処理による有機フッ素化合物除去性の評価 沖繩県企業局	9-19 民間企業における高濁度原水対応への取り組み 月高テクノメンテサービス
羽根 康史	小丸 雄斗	加田 博之	福原 次朗	伊藤 将和
4-57 分子量分画を用いた浄水処理プロセスにおける溶存有機物の除去特性の比較 水 ing	5-21 現場利用型マッピングシステムの活用研究 管総研	5-73 高水圧地区の解消事例 京都市上下水道局	8-20 浄水処理対応困難物質の処理性調査 大阪広域水道企業団	9-20 大阪市における摂取制限を伴う給水継続の対応方針 大阪市水道局
西村 究	齊藤 和香	明瀬 一磨	上田 航太郎	今中 壮一
4-58 猪名川浄水場オゾン接触槽におけるヒドロキシルラジカル Cl 値の推定 阪神水道企業団	5-22 配管工事における管端部からの地下水等流入防止対策 東京都水道局	5-74 船橋給水場連絡弁更新に向けた配水系統変更 千葉県水道局	8-21 粉末活性炭吸着性能の比較 新潟東港地域水道用水供給企業団	9-21 水道事業におけるリスクアセスメント導入の支援 日本水道協会
打上 恭平	寺尾 見明	加藤 英之	相馬 司	安部 俊宏
10月25日 (木) 午前 計5題	10月25日 (木) 午前 計5題	5-75 大口径バルブ破損に伴う大規模な配水系統切替 (II) 横浜市水道局	8-22 浄水ヒ素に着目した高塩基度 PAC の適正注入 福岡地区水道企業団	9-22 水道施設の事故における原因と再発防止策 -「実務に活かす上水道の事故事例集2016」より- 日本水道協会
		安部 敬和	白水 智則	猪股 達
		10月25日 (木) 午前 計6題	10月25日 (木) 午前 計6題	10月25日 (木) 午前 計6題

研究発表の日程 —10月25日（木）午後—

第 1 会 場

事務部門（営業業務） 13:00～14:30（計6題） 座長：作新学院大学名誉教授 太田 正	
1-18	水道事業体並びに医療機関との連携による未検針発生抑制の取組み 第一環境 渡部 直人
1-19	スマート水道メーターへの期待と導入に向けた取組み 水道技術研究センター 関根 康記
1-20	積雪寒冷地におけるスマートフォン検針札幌市水道局 小林 孝行
1-21	水道料金の滞納整理の取組み 給水停止できない滞納者への対応－ 函館市企業局 上野 正人
1-22	メーター検針の効率化に係る無線通信実証実験（Ⅲ） 大阪市水道局 小谷 薫
1-23	収入確保を目的とした有効的な無届使用対策 堺市上下水道局 藤田 均

事務部門（業務委託） 14:35～16:05（計6題） 座長：福岡大学大学院教授 柳橋 泰生	
1-24	総合評価落札方式による業務委託契約の実施 より品質の高いお客さま受付センター運営の見地から 名古屋市上下水道局 堀 和之
1-25	水道施設の運転管理業務における地元企業の育成 宮崎市上下水道局 小池 武
1-26	包括委託における民間活用度評価指標の提案 ヴェオリア・ジェネッツ 岡田 一也
1-27	大阪広域水道企業団 庭窪浄水場における運転管理業務の外部委託 大阪広域水道企業団 穂満 範人
1-28	「[仮称] 江戸川浄水場排水処理施設整備等事業」（PFI事業）の事業運営経過報告 千葉県水道局 和田 一宏
1-29	民法改正が水道実務に与える影響に関する一考察 名古屋市上下水道局 加藤 嘉之

事務部門（研修・人材育成） 16:10～17:40（計6題） 座長：北海学園大学教授 余湖 典昭	
1-30	福岡市水道局業務参考書 －OJTの教本作成－ 福岡市水道局 吉村 浩司
1-31	新入社員研修の改善 －水道サービススタッフの早期育成－ PUC 尾花 剛
1-32	水道施設の腐食防食技術の常識を理解させる研修プログラムの提案 －簡易卓上実験キット導入によるカリキュラム－ 横浜国立大学 朝倉 祝治
1-33	職員の知識向上と技術継承を目的とした給水勉強会の取組 京都市上下水道局 岡田 美幸
1-34	若手職員によるプロジェクト「水道・下水道未来研究会」 京都市上下水道局 小野 耕作
1-35	若手職員の組織力強化を図る取組 －MIYAKO PROJECTの活動－ 京都市上下水道局 近藤 晃代

10月25日（木）午後 計18題

第 2 会 場

機械・電気・計装部門（検証・開発・その他） 13:00～14:15（計5題） 座長：日本水道協会工務部長兼 水道技術総合研究所長 芦田 裕志	
7-1	ポンプの省エネシミュレーションソフトの開発 埼玉県企業局 町田 邦光
7-2	電磁流量計を活用したマルチセンシングシステムの開発 横河ソリューションサービス 仲村 栄輝
7-3	上水道の浄水池等のバフファを活用したデマンドレスボンスの事業化可能性調査 大阪広域水道企業団 北口 和雅
7-4	拡張現実技術を活用した技術・技能伝承問題への取組み 横河ソリューションサービス井上 志生
7-5	仮設発電設備を用いた非常用自家発電設備の大規模修繕 千葉県水道局 玉沢 博

機械・電気・計装部門（環境対策） 14:20～15:50（計6題） 座長：日本水道協会検査部長兼 品質認証センター長 平本 重夫	
7-6	温室効果ガス排出総量削減義務履行に向けた取組 →八坂給水所トッパレベル事業所認定－ 東京部水道局 藤崎 敏行
7-7	上水道におけるエネルギー有効活用の実態調査報告 明電舎 福井 篤人
7-8	大規模膜ろ過浄水場における電力量低減対策 メタウォーターサービス 浅野 真也
7-9	配水ポンプのエネルギー消費抑制の検討 横浜市水道局 吉田 聖久里
7-10	奈良県水道局における再生可能エネルギーへの取り組み 吉永 史朗
7-11	住宅地に隣接したポンプ場の騒音に関する対応 阪神水道企業団 平間 淳二

機械・電気・計装部門（設備新設・更新） 15:55～17:10（計5題） 座長：東京大学大学院教授 滝沢 智	
7-12	神出浄水場における設備更新事例 兵庫県企業庁 小西 孝博
7-13	河南送水システムと送水ポンプ施設の整備計画 －将来計画を見据えた送水ポンプ設備の機械設計－ 大阪広域水道企業団 大野 鐘三
7-14	木下取水場における大口径（φ2000mm）電磁流量計の更新 千葉県水道局 新田 啓十
7-15	コンピューターネットワークを利用した浄水場監視システムの導入 大分市上下水道局 荒金 浩司
7-16	小規模事業体におけるクラウド型遠隔監視システムの導入事例 フワウ 西原 健志

10月25日（木）午後 計16題

第 3 会 場

給水装置部門（メータ等） 13:00～14:00（計4題） 座長：東京大学大学院教授 吉米 弘明	
6-17	不断水での交換可能な電磁式水道メーターの研究開発 愛知時計電機 森田 義己
6-18	箱根地区におけるスマートメーター共同研究（Ⅱ） －データ利活用の有効性に関する検証－ JFE エンジニアリング 森垣 紀子
6-19	箱根地区におけるスマートメーター共同研究（Ⅲ） －スマート水道メーター導入に向けた検証－ 神奈川県企業庁 佐藤 博幸
6-20	市街地でのLPWA水道自動検針導入にむけて実証実験 高槻市水道部 久保 和也

給水装置部門（その他） 14:05～15:20（計5題） 座長：福岡市水道局配水部長 石橋 隆	
6-21	給水装置の凍結に伴う給水量変動の分析と今後の取組 秋田市上下水道局 加藤 雄大
6-22	給水装置の立ち入り検査に関する取組み 札幌市水道局 山下 拓矢
6-23	逆流防止装置の選定基準 「安全」「安心」を水を蛇口から－ 岩手中部水道企業団 千葉 裕人
6-24	給水装置工事電子申請システム導入の検討 横浜市水道局 茂木 謙太郎
6-25	指定給水装置工事事業者研修会の広域開催と今後の展望 川崎市上下水道局 野澤 敦司

事務部門（国際貢献） 15:25～17:10（計7題） 座長：福岡市水道局総務部長 曾根田 秀明	
1-43	札幌市水道局におけるモンゴル国ウランバートル市への国際協力プロジェクト 札幌市水道局 瀬戸 千恵
1-44	モンゴル国ウランバートル市における流量・水圧測定の技術指導 札幌市水道サービス協会 佐藤 大輔
1-45	東ティモール民主共和国における浄水場の運転管理指導（Ⅲ） －ペナマク浄水場におけるOJTを取り入れた凝集攪拌機修繕－ 千葉県水道局 山崎 輝行
1-46	東ティモール民主共和国における浄水場の水質管理指導（Ⅲ） －凝集剤の変更に伴う水質管理－ 千葉県水道局 西野 友祐
1-47	横浜市水道局の国際協力活動を推進する組織の変遷と効果 横浜市水道局 高木 佑介
1-48	オーストリアにおける水道水の広報活動及び技術者育成の取組 千葉県水道局 栗山 貴好
1-49	ミャンマー国ヤンゴン市における水道水質管理体制の構築 －JICA技術協力プロジェクトにおける取組み－ 特別会員 守田 康彦

10月25日（木）午後 計16題

第 4 会 場

浄水部門（排水処理） 13:00～14:15（計5題） 座長：金沢大学教授 池本 良子	
4-9	浄水発生土の乾燥工程に関する課題と改善検討 －天日乾燥床における乾燥促進の取組み－ 兵庫県企業庁 笹川 公憲
4-10	実機データから検討した低動力型圧搾式加圧脱水機の適用範囲 石垣 内田 大介
4-11	濃縮槽への回転羽根付スラッジ掻き機の適用（Ⅲ） －実施設における脱水処理への効果－ 西原環境 田中 宏樹
4-12	高濃縮浄水場における排水マンホール設備の運用 愛知県企業庁 白崎 学
4-13	ハイブリッド膜ろ過システムの排水処理施設への適用可能性調査 阪神水道企業団 瀧野 博之

浄水部門（薬品注入制御） 14:20～15:50（計6題） 座長：大阪工業大学教授 笠原 伸介	
4-14	後次亜注入プロセスに対するフィードバック制御実装方法の提案 ヤマト 川端 洋之進
4-15	苛性ソーダ注入プロセスのためのpH制御システムの構築（Ⅰ） 群馬工業高等専門学校 山崎 昭夫
4-16	苛性ソーダ注入プロセスのためのpH制御システムの構築（Ⅱ） 長岡技術科学大学 加藤 匠
4-17	浄水場における水質の動的シミュレーション オメガシミュレーション 石川 真紀夫
4-18	画像処理型凝集センサによる水質制御システム 東芝インフラシステムズ 有村 良一
4-19	濁質の粒度分布と凝集剤注入率 月島テクノソリューションズ 西村 拓也

浄水部門（浄水システム） 15:55～17:10（計5題） 座長：広島大学教授 西嶋 涉	
4-20	標的とする消毒副生成物に対応した浄水処理フローに関する検討 前澤工業 野嶋 義教
4-21	弱酸性で溶存性金属濃度の高い原水の浄水施設の紹介 佐原工業 水野 英俊
4-22	出原浄水場の施設更新に伴う浄水処理方法及び排水処理方法の検討事例 福山市上下水道局 吉川 治之
4-23	自然・社会条件の変化が浄水処理に与えている障害と対策に関する実証調査 －変化に対応した浄水技術の構築に関する研究（A-Batons）の取組み（Ⅵ）－ 水道技術研究センター 谷川 大悟
4-24	中小規模水道における自立型分散水道システムの有効性検証 日本原料 島倉 悠作

10月25日（木）午後 計16題

第 5 会場

浄水部門（高度浄水処理②）	
13:00～14:00（計4題）	
座長：北海道大学大学院教授	岡部 聡
4-59 霞ヶ浦を水源とする新たな浄水処理手法の実証実験（第10報） 有機物除去に対する樹脂再生条件の効果 茨城県企業局	益子 幸一
4-60 霞ヶ浦を水源とする新たな浄水処理手法の実証実験（第11報） 一促進酸化処理における過酸化水素の挙動 茨城県企業局	大島 雅史
4-61 霞ヶ浦を水源とする新たな浄水処理手法の実証実験（第12報） 一促進酸化処理における過酸化水素の挙動 茨城県企業局	石崎 孝幸
4-62 稼働後24年経過したオゾン接触槽におけるコンクリートの劣化調査 阪神水道企業団	新田 翔悟

浄水部門（膜ろ過①）

14:05～15:20（計5題）	
座長：お茶の水女子大学大学院教授	大瀧 雅寛
4-63 セラミック製浸漬型平膜を用いた低水頭差利用の膜ろ過システム オルガノ	瀧口 佳介
4-64 流川を原水とした浄水処理への膜ろ過技術の適用可能性に関する調査（Ⅱ） 大阪市水道局	田川 克弘
4-65 流川原水への浄水セラミック膜ろ過技術の適用（Ⅲ） メタウォーター	村田 直樹
4-66 本山浄水場における精密ろ過膜モジュールの簡易薬品洗浄に関する検討 神鋼環境ソリューション	田中 裕大
4-67 高濁度表流水に対する槽浸漬方式セラミック膜ろ過法の適用 クボタ	田邊 耕平

浄水部門（膜ろ過②）

15:25～16:25（計4題）	
座長：日本水道協会工務部次長	北澤 弘美
4-68 精密ろ過膜モジュールの簡易薬品洗浄に関する検討 一薬品洗浄液組成解析からの洗浄効果の評価 神戸大学大学院	長谷川 進
4-69 膜ろ過施設の維持管理の実態調査 一変化に対応した浄水技術の構築に関する研究（A-Batons）の取組み（Ⅳ） 神鋼環境ソリューション	藤本 瑞生
4-70 遠心分離を用いた凝集処理水中のナノ粒子解析に関する一考察 水ing	貝谷 吉美
4-71 高集積浸漬型中空糸膜モジュールを用いた高濁度原水のろ過性評価 三菱ケミカルアクア・ソリューションズ	竹田 哲

10月25日（木）午後 計13題

第 6 会場

導・送・配水部門（管路技術②）	
13:00～14:15（計5題）	
座長：東京都大学教員	長岡 裕
5-23 電磁誘導加熱器による管内水塊の溶解効果の検証 川崎市上下水道局	吉武 裕樹
5-24 木下取水場電磁流量計更新に伴う不連続工法による大口径仕切弁（φ2000mm）の設置 千葉県水道局	熊川 雄太郎
5-25 水道配水用ポリエチレン管 埋設管掘上調査 配水用ポリエチレンパイプシステム協会	塩浜 裕一
5-26 水道配水用ポリエチレン管路の耐震性評価（Ⅳ） 一鋼鉄サドル付分水栓 配水用ポリエチレンパイプシステム協会	田原 圭吾
5-27 水道配水用ポリエチレン管路の耐震性評価（Ⅴ） 一付属設備 配水用ポリエチレンパイプシステム協会	掛川 光彦

導・送・配水部門（アセットマネジメント）

14:20～15:35（計5題）	
座長：首都大学東京特任教授	小泉 明
5-28 水道管路におけるアセットマネジメントの実践に向けた実行可能なマイクロマネジメント構築の取組み（Ⅱ-I） 一産官連携での共同研究による維持管理技術力の有効・相互活用 佐世保市水道局	府川 崇治
5-29 水道管路におけるアセットマネジメントの実践に向けた実行可能なマイクロマネジメント構築の取組み（Ⅱ-II） 一導水管のマイクロマネジメントデータ活用による評価手法検討Ⅱ 栗本鐵工所	金子 武司
5-30 水道管路におけるアセットマネジメントの実践に向けた実行可能なマイクロマネジメント構築の取組み（Ⅱ-Ⅲ） 一管路情報の蓄積・可視化を活用した維持管理手法 フジテコム	太田 宏一
5-31 水道管路におけるアセットマネジメントの実践に向けた実行可能なマイクロマネジメント構築の取組み（Ⅱ-Ⅳ） 一非開閉による鋼鉄配水管の耐久性定量評価手法の検討 佐世保市水道局	宮原 裕享
5-32 水道管路におけるアセットマネジメントの実践に向けた実行可能なマイクロマネジメント構築の取組み（Ⅱ-V） 一非開閉による埋設管環境調査（腐食速度の検討） ベンチャー・アカデミア	岡本 守道

導・送・配水部門（配水池①）

15:40～16:55（計5題）	
座長：京都大学大学院教授	伊藤 禎彦
5-33 基幹配水池である平岸配水池の耐震化事業 一配水池の耐震化・上面有効活用の方策（テニスコート及びPR 用水飲み場の整備） 札幌市水道局	岩崎 翔一
5-34 竣工後40年経過した配水池におけるコンクリートの中酸化進行状況と対策 横浜水道局	渡邊 伍郎
5-35 多摩地域における清掃ロボットを用いた配水池清掃 東京都水道局	近藤 健太
5-36 鋼製配水池の頂版内面におけるFRP工 一エンゲ試験施工 神戸市水道局	小塚 健祐
5-37 導流壁が池状構造物の耐震診断に与える影響と評価 神奈川県企業庁	齊藤 賢一

10月25日（木）午後 計15題

第 7 会場

導・送・配水部門（管路運用②）	
13:00～14:30（計6題）	
座長：香川大学准教授	石塚 正秀
5-76 運転記録の分析に基づく取配水ポンプの運転支援技術の実証 日立製作所	足立 進吾
5-77 IoT 技術を活用した新たな水圧監視システムの検証 福岡市水道局	山口 元気
5-78 フロック間融通の活用に関する一考察 川崎市上下水道局	石渡 学
5-79 バックアップを考慮した高区系送配水池設の整備検討に関する一考察 川崎市上下水道局	越智 龍太
5-80 安定供給の確保と水圧低下解消に向けた配水系統の切り替え 一脆弱施設のダウンサイジング 岩手中部水道企業団	駒場 智一
5-81 尋常における配水ネットワークワークのダウンサイジングを考慮した管路更新計画に関する一考察 首都大学東京	峯田 政賢

導・送・配水部門（漏水調査・漏水防止①）

14:35～16:05（計6題）	
座長：鳥取大学理事	細井 由彦
5-82 カオス理論を適用した水道管路の漏水判別の検討 首都大学東京	藤本 泰成
5-83 漏水リスクを考慮した漏水監視センサーの配置調整に関する一考察 首都大学東京大学院	大谷 真也
5-84 音響フィルタリングによる水道給配水管の漏水検知技術の開発 東芝インフラシステムズ	小峰 英明
5-85 ニューラルネットワークを応用した漏水有無判別モデルに関する一考察 首都大学東京大学院	新居 広大
5-86 大口径管路の漏水検知技術の実用化に向けた研究 栗本鐵工所	山本 雅之
5-87 京都市における漏水調査 京都市上下水道局	外村 繁幸

導・送・配水部門（漏水調査・漏水防止②）

16:10～17:40（計6題）	
座長：首都大学東京大学院特任教授	稲貝 とよの
5-88 計画的な漏水防止に向けた取り組み 伊丹市上下水道局	居原田 健一
5-89 効果的な漏水調査方法確立のための新たな配水分析 神奈川県企業庁	諸節 聖舜
5-90 音響圧監視システムを用いた漏水多発地区の常時監視調査 一川崎市監視型漏水調査における漏水検出事例 フジテコム	古波津 潤一郎
5-91 給配水情報管理システムを活用した漏水調査の効率化 川崎市上下水道局	酒井 良
5-92 AI を用いた漏水識別手法の実フィールド評価 一SIP（インフラ維持管理・更新・マネジメント技術）における研究成果 フジテコム	加治 克宏
5-93 小規模給水地域の漏水発見システムの構築 東京水道サービス	尾崎 一弥

10月25日（木）午後 計18題

第 8 会場

水質部門（生物・微生物）	
13:00～14:30（計6題）	
座長：東北大学大学院准教授	佐野 大輔
8-23 河川水からのジアルジア（ <i>Giardia microti</i> ）の検出 青森市企業局	古川 紗耶香
8-24 魚病による監視魚へい死発生時の水質安全確認 石川県手取川水道事務所	下田 啓介
8-25 出原浄水場における従属栄養細菌の発生と対策 福山市上下水道局	天満 一倫
8-26 デジタルホログラフィ3次元顕微鏡と画像解析技術を活用した水道生物の定量的評価 名古屋工業大学大学院	西郷 知寿
8-27 地下水における病原ウイルス汚染実態調査に向けた検討 国立保健医療科学院	三浦 尚之
8-28 各戸導入型小規模水処理設備の利用における <i>Legionella pneumophila</i> 感染リスク評価 東北大学大学院	門屋 俊祐

水質部門（送配水・給水・水質管理）

14:35～16:05（計6題）	
座長：京沢工業大学教授	土佐 光司
8-29 小規模水道事業における送配水の水質管理等に関する実態調査 水道技術研究センター	武内 宝巨
8-30 中小規模水道事業体の水質検査技術向上への取り組み（事例紹介） 新潟東港地域水道用供水給企業団	渡辺 雄司
8-31 水道 GLP を活用した水質検査体制向上の取り組み 神奈川県内広域水道企業団	赤坂 麻衣
8-32 給水栓における水質に関する苦情発生状況の傾向と対応 千葉県水道局	川名 夏未
8-33 給水栓におけるニッケルの実態調査 盛岡市上下水道局	佐々木 俊樹
8-34 給水過程における残留塩素の消滅と亜硝酸態窒素の生成 一地下水を浴槽水などとして給水する旅館施設の実例 横浜市衛生研究所	吉川 循江

水質部門（残留塩素濃度管理）

16:10～17:40（計6題）	
座長：国立保健医療科学院上席主任研究官	越後 信哉
8-35 追従時での遊離残留塩素の挙動把握 奈良市企業局	澤村 直明
8-36 残留塩素濃度の低減化にむけた高濁浄水場系の残留塩素濃度実態調査 広島市水道局	友永 裕一郎
8-37 残留塩素濃度平準化・低減化に向けた取組 川崎市上下水道局	權田 直紀
8-38 複数配水池を経由する配水プロセスにおける残留塩素濃度の予測 札幌市水道局	高橋 竜平
8-39 貯水槽水道における残留塩素予測手法の検討 大阪市水道局	富山 裕一
8-40 水道原水の水質負荷に対する塩素要求量の有効性に関する調査 久留米市企業局	半田 聡

10月25日（木）午後 計18題

第 9 会場

リスク管理・災害対策部門（災害・事故対応①）	
13:00～14:45（計7題）	
座長：名古屋大学准教授	平山 修久
9-23 緊急時連絡網の整備に向けた検討 札幌市水道局	山上 勇次
9-24 用水供給事業と他事業連携 一管路施設の安定性確保に向けて 東京設計事務所	神田 智行
9-25 相模原ポンプ場導水ポンプ故障による沼本緊急導水の実施 神奈川県内広域水道企業団	加藤 卓
9-26 幹線管漏水事故における過去の教訓と事故対応 堺市上下水道局	中平 正訓
9-27 水源の大規模油流入事故への対応力強化の取組み 札幌市水道局	堀 和雅
9-28 浄水場における九州北部豪雨の影響 久留米市企業局	野口 正和
9-29 平成30年1月寒波に係る対応状況 新潟市水道局	小島 正史

リスク管理・災害対策部門（災害・事故対応②）

14:50～16:05（計5題）	
座長：三重大学教授	朴 惠淑
9-30 荒尾市包括委託による危機管理対応力の強化 一BCP 運用訓練から見えてきた包括委託の効果 荒尾市企業局	近本 一宏
9-31 大規模災害時の被害想定や復旧計画策定を支援するシミュレーションシステムの開発 メタウォーター	鳥本 慎也
9-32 荒尾市水道事業の包括委託 一マイクロマネジメント業務の事例報告 一あらおウォーターサービス	志賀 淳一
9-33 リモートコントロールソフトを活用した離れた職場間の情報交換による緊急時対応力の向上 横浜市水道局	筒井 涼太
9-34 水道管路の地震被害想定に基づいた復旧用資材置場のデジタルシミュレーション評価 首都大学東京大学院	荒井 康裕

リスク管理・災害対策部門（災害支援）

16:10～17:10（計4題）	
座長：国立保健医療科学院統括研究官	秋葉 道宏
9-35 熊本地震に伴う平成29年度の災害復興 大分市上下水道局	松野 公亮
9-36 九州北部豪雨災害の復旧支援（Ⅰ） 一北九州市上下水道局による支援活動 一北九州市上下水道局	高山 太郎
9-37 九州北部豪雨災害の復旧支援（Ⅱ） 一北九州市上下水道局による支援活動 一北九州市上下水道局	父母石 寛貴
9-38 台風18号における津久見市への支援活動 大分市上下水道局	児玉 光徳

10月25日（木）午後 計16題

研究発表の日程 —10月26日（金）午前—

第 1 会 場

浄水部門（技術継承）

9:00～10:00（計4題）

座長：日本水道協会大阪支所長 宮内 潔

- 4-1 浄水技術継承支援システムの開発
—変化に対応した浄水技術の構築に関する研究 (A-Batons) の取組み (Ⅳ) —
水道技術研究センター 松本 純
- 4-2 技術の蓄積と活用のための浄水技術データベース
—変化に対応した浄水技術の構築に関する研究 (A-Batons) の取組み (Ⅲ) —
メタウォーター 小山西 教
- 4-3 e-ラーニングを活用した浄水技術学習プログラムによる人材育成支援
—変化に対応した浄水技術の構築に関する研究 (A-Batons) の取組み (Ⅹ) —
前澤工業 赤澤 尚友
- 4-4 水道事業者の自己評価支援のための技術継承評価ツールの開発
—変化に対応した浄水技術の構築に関する研究 (A-Batons) の取組み (Ⅺ) —
水道機工 惣名 史一

事務部門（財政）

10:05～11:50（計7題）

座長：横浜市立大学教授 宇野 二郎

- 1-36 適正な水道料金の決定
—水道料金改定業務の手引き—
日本水道協会 秋元 良介
- 1-37 水道料金の見直しによる経営基盤の強化 (Ⅰ)
大分市上下水道局 柴田 英企
- 1-38 水道料金の見直しによる経営基盤の強化 (Ⅱ)
—地下水転換対策の取組み—
大分市上下水道局 幸野 宏城
- 1-39 水道水と地下水等を混合して利用する「地下水等利用専用水道」を対象とした「水道施設維持負担金制度」の創設
京都市上下水道局 阪脇 太郎
- 1-40 マイナス金利環境下におけるファイナンスの効率化 (Ⅱ)
岩手中部水道企業団 小原 太吉
- 1-41 大阪広域水道企業団用地的有効活用例
—大阪広域水道企業団で初めて長期貸付事業を実施—
大阪広域水道企業団 奥村 宗和
- 1-42 配水管工における実績申告型入札方式の導入
—工事品質の確保と受注者の技術力向上を促す取組—
大阪市水道局 吉澤 源太郎

10月26日（金）午前 計11題

第 2 会 場

機械・電気・計装部門（維持管理）

9:00～10:15（計5題）

座長：東京大学大学院教授 古米 弘明

- 7-17 IoT の活用による加圧ポンプの状態監視
水みらい広島 浜田 誠
- 7-18 市内遠方水源における映像監視装置と連絡手段の導入事例
大分市上下水道局 釘宮 将樹
- 7-19 アセットマネジメント計画におけるミクロマネジメントの実施
—高圧電動機—
大阪広域水道企業団 朝比奈 滋
- 7-20 設備機能診断に基づく受配電設備のリスク低減への取り組み (Ⅰ)
—機能診断の実施と改善策—
阪神水道企業団 大谷 一司
- 7-21 設備機能診断に基づく受配電設備のリスク低減への取り組み (Ⅱ)
—送配水ポンプに係る電気設備の改善策—
阪神水道企業団 中村 浩平

水源・取水部門（井戸）

10:20～11:05（計3題）

座長：県立広島大学准教授 橋本 温

- 3-15 同一箇所掘削工法による自噴井の更新工事
—施工上の課題に対する対応策の検討—
熊本市上下水道局 若竹 修誠
- 3-16 新たな井戸更新工法による効果と井戸能力の推移
日さく 西脇 仁
- 3-17 水安全計画の管理基準を指標とした硝酸態窒素に関する地下水の水質管理
さいたま水道局 中村 浩二

水源・取水部門（貯水池）

11:10～12:25（計5題）

座長：首都大学東京大学院教授 横山 勝英

- 3-18 千両貯水池の水質・水理構造に関する共同研究
神戸市水道局 平木 康大
- 3-19 貯水池流動シミュレーションにおける湖上風の与え方が水温・流速分布におよぼす影響
首都大学東京大学院 松永 真弥
- 3-20 小河内貯水池における取水深度が水温・濁度に与える影響の長期分析
首都大学東京大学院 井口 慧
- 3-21 小河内貯水池第1号取水施設の機能診断結果報告
東京都水道局 印部 賢治
- 3-22 小河内貯水池における堆砂状況の経年変化に関する分析
首都大学東京大学院 高木 裕雄

10月26日（金）午前 計13題

第 3 会 場

英語部門（浄水・機械・水質）

9:00～10:00（計4題）

座長：国立保健医療科学院主任研究官

- 三浦 尚之
- 10-1 Efficiency improvement of water leak survey using time integrated leak survey equipment in Taiwan
台湾における時間積分式漏水調査機器を用いた漏水調査の効率化
東京水道サービス 小島 寛
- 10-2 Project to Support the Reduction of Unaccounted Water through Effective Control within the Nadi/Lautoka Regional Area
ナンディ・ラウトカ地区における効果的な無収水の低減化支援プロジェクト
ファイバー上下水道公社 Ponipate Naigulevu
- 10-3 Long-Term Policy for the Development of Facilities in Chiba Prefecture Waterworks Utility:
—Securing Safe and Reliable Water Supply for Future Generations—
千葉県営水道事業長期施設整備方針の策定
—次世代につなぐ安全・安心な水道を目指して—
千葉県水道局 石井 源一
- 10-4 The result of "Good Quality Water Plan" and future approaches
「おいしい水づくり計画」の成果と今後の取組
千葉県水道局 益子 裕亮

英語部門（無収水削減・計画）

10:05～11:05（計4題）

座長：国立保健医療科学院上席主任研究官

- 島崎 大
- 10-5 Cooperative improvement of water treatment plant function in Yangon city, Myanmar with Japan
ミャンマー国ヤンゴン市浄水場における浄水場処理機能改善のための日本国との協同活動
ヤンゴン市開発委員会水衛生局 Zaw Oo
- 10-6 Investigation of behavior of ammonia-oxidizing microorganisms in water purification processes
アンモニア除去に関する微生物の浄水処理における挙動調査
東京都水道局 吉岡 克英
- 10-7 Trouble Shooting on Cavitation Erosion Effect of the Water Supply Pump
キャビテーションエロージョンの影響による送水ポンプの不具合対策
大阪広域水道企業団 坂上 陽亮
- 10-8 Study on Characteristics of Mn Accumulation on Epoxy-Lining Pipelines in Distribution System
配水システムにおけるマンガンのエポキシライニング管への蓄積特性に関する研究
京都大学大学院 周 心怡

計装部門（ビジョン）

11:10～12:25（計5題）

座長：北九州市立大学教授 柳井 雅人

- 2-7 奈良県における水道事業の強化
奈良県水道局 西浦 優己
- 2-8 水道事業ビジョンにおける将来の事業環境の体系的整理
—SWOT 分析への展開—
オリジナル設計 鈴木 真介
- 2-9 京都市上下水道事業経営ビジョン (2018-2027) 「京 (みやこ) の水ビジョン —あすをつくる—」の策定
京都市上下水道局 松川 美穂
- 2-10 「多摩水道運営プラン2017」の策定
—給水安定性の更なる向上に向けて—
東京都水道局 石田 祐也
- 2-11 阪神地域における水供給の全体最適に向けた広域的な視点での研究
阪神水道企業団 浅井 雅彦

10月26日（金）午前 計13題

第 4 会 場

浄水部門（活性炭①）

9:00～10:30（計6題）

座長：豊橋技術科学大学教授 井上 隆信

- 4-25 粉末活性炭の原料と粒度が浄水処理に及ぼす影響
大阪ガスケミカル 大中 洋一
- 4-26 熊ヶ根浄水場における高機能活性炭注入による浄水処理過程水質への影響調査
仙台市水道局 今野 祥顕
- 4-27 高機能活性炭の導入に向けた検討
横浜市水道局 渡辺 太郎
- 4-28 道志川水系におけるかび臭 (2-MIB) 障害
—活性炭による除去性の調査—
横浜市水道局 窪 謙佑
- 4-29 浄水処理における粒状活性炭性能の経時変化
大阪市水道局 今村 康夫
- 4-30 粒状活性炭による油臭除去性能調査
東京都水道局 笹原 貴志

浄水部門（活性炭②）

10:35～11:50（計5題）

座長：国立保健医療科学院上席主任研究官

- 越後 信哉
- 4-31 トリハロメタン低減を目的とした生物活性炭接触ろ過設備の運用事例
神鋼環境ソリューション 林 祥一
- 4-32 上向流活性炭処理と膜ろ過による長期運転 (Ⅰ)
—主に上向流活性炭による処理性について—
前澤工業 根本 雄一
- 4-33 上向流活性炭処理と膜ろ過による長期運転 (Ⅱ)
—設備の運転管理による効果—
春日郡河川水道企業団 越智 孝徳
- 4-34 金町浄水場における冬期のトリクロロミン対策
東京都水道局 田中 繁樹
- 4-35 紫外吸光度を用いた薬品注入方法の検討
茨城県企業局 莊司 浩史

10月26日（金）午前 計11題

第 5 会場

浄水部門（膜ろ過③）
9:00～10:00（計4題）
座長：北海道大学大学院教授 松井 佳彦

4-72	浸透型膜ろ過装置の高濁度原水への適用性評価 水ing	山本 崇史
4-73	凝集処理のUF膜ファウリング抑制効果：MF膜との比較 北海道大学大学院	久米 啓太
4-74	In-situ 固体3次元励起蛍光スペクトル分析法による膜ファウリング原因物質・メカニズムの推定 中央大学	丁 青
4-75	中空糸精密ろ過膜の劣化状況の評価 東京大学	平田 裕希

浄水部門（塩素処理等①）
10:05～11:05（計4題）
座長：東京大学准教授 小熊 久美子

4-76	次亜塩素酸ナトリウムに関連した水質異常事例とその対策 東京都水道局	林 むぐ
4-77	浄水場更新後における次亜塩素酸ナトリウムの急激な劣化原因の究明 大阪広域水道企業団	瀧本 一郎
4-78	水処理過程における塩素使用量削減の検討 茨城県企業公社	岡 達也
4-79	緩速ろ過塩素要求量の影響要因と送水過程での変動 東北公営企業	山崎 正寛

浄水部門（塩素処理等②）
11:10～12:10（計4題）
座長：国立保健医療科学院主任研究官 浅田 安廣

4-80	無試薬吸光度法による残留塩素の連続測定 東亜ディーケーケー	浦田 美由貴
4-81	小作浄水場における中間塩素処理の導入によるかび臭除去対策 東京都水道局	渡辺 瑛恵
4-82	ろ過池の覆蓋化とその副次的効果 北千葉広域水道企業団	石井 智之
4-83	浄水場内で増殖する小型藻類の紫外線による増殖抑制技術検討（Ⅲ） 月島橋機	中川 智之

10月26日（金）午前 計12題

第 6 会場

導・送・配水部門（配水池②）
9:00～10:00（計4題）
座長：岐阜大学准教授 山田 俊郎

5-38	配水池専用の回転ジェット流式給水装置の開発 ベルテックノ	与儀 真一郎
5-39	水道向けPCタンクへのラップド式アルミ屋根の適用 アルミニウム合金製屋根工法協会	横山 隆夫
5-40	水道池状コンクリート構造物の戦略的な維持管理手法の研究開発 日水コン	宮本 勝利
5-41	アルカリ溶出抑制剤（AAEコート）の試験施工報告 安部日鋼工業	河野 雅弘

導・送・配水部門（耐震化①）
10:05～11:05（計4題）
座長：福岡市水道局計画部長 久我 洋一郎

5-42	既設フランジ形仕切弁の耐震補強実施状況 三田市上下水道部	長澤 正憲
5-43	矩形水槽への取り付けを想定した短周期振動対応の制震装置の開発 森松工業	青木 大祐
5-44	重要給水施設に供給する管路の効率的耐震化に関する検証 一宮市上下水道部	山内 幸雄
5-45	線形・非線形解析による耐震診断結果等の比較 東京設計事務所	苗村 信弘

導・送・配水部門（耐震化②）
11:10～12:10（計4題）
座長：神戸大学大学院准教授 銀田 泰子

5-46	水道配水用ポリエチレン管路の耐震性評価（Ⅰ） －地震時挙動と設計フローチャート－ 配水用ポリエチレンパイプシステム協会	西川 源太郎
5-47	水道配水用ポリエチレン管路の耐震性評価（Ⅱ） －管軸方向加振試験による水道配水用ポリエチレン管の耐震性能評価（耐震限界性能）－ 山形大学	栗山 卓
5-48	水道配水用ポリエチレン管路の耐震性評価（Ⅲ） －管軸方向加振試験による水道配水用ポリエチレン管の耐震性能評価（加振後の性能試験）－ 配水用ポリエチレンパイプシステム協会	大室 秀樹
5-49	大阪広域水道企業団郡家ポンプ場の耐震補強に関する設計及び施工 大阪広域水道企業団	濱本 誠司

10月26日（金）午前 計12題

第 7 会場

導・送・配水部門（漏水調査・漏水防止③）
9:00～10:30（計6題）
座長：福岡市水道局保全部長 下川 明

5-94	配水小ブロックを活用した漏水防止対策への取り組み －ブロック別有効率の精度向上を目的とした配水量分析－ 豊中市上下水道局	岩瀧 成吾
5-95	効率的な漏水調査を目的とした点検孔設置と管路音圧監視システムの構築 豊中市上下水道局	吉村 祐介
5-96	配水本管の水管橋・橋梁添架管を対象とした漏水等の状況調査 京都市上下水道局	小寺 翼
5-97	配水管漏水事故に備えた漏水修繕材料の備蓄事例 京都市上下水道局	塩崎 一樹
5-98	配水本管 φ800mm 漏水事故対応 東京都水道局	浦井 優
5-99	大口埋管における漏水事故の補修工法検討 岐阜県東部広域水道事務所	木村 文彦

導・送・配水部門（管路工事等①）
10:35～11:50（計5題）
座長：九州大学特別顧問 楠田 哲也

5-100	マスコ対策で採用した低熱セメントの短期間施工手法 東京都水道局	塩塚谷 遼
5-101	和田堀給水所内工事における既設埋設管の調査方法 東京都水道局	鈴木 克幸
5-102	推進工法での推進機停止事例 堺市上下水道局	三浦 文康
5-103	第二北総～成田線送水管の供用開始に向けた取組 千葉県水道局	池田 守
5-104	シールド工法における迎え掘り工 大阪広域水道企業団	山口 剛

10月26日（金）午前 計11題

導・送・配水部門（耐震化③）
11:55～12:10（計5題）
座長：麻布大学准教授 大河内 由美子

8-48	フェノール類及び陰イオン界面活性剤の簡易試験法における代替溶媒の検討 埼玉県企業局	関谷 卓見
8-49	効率的な検査体制の構築に向けた取組 －ホルムアルデヒドの検査方法の変更－ 秋田市上下水道局	井上 貴尋
8-50	SPME-GC/MS、LC/MS/MSを使った一斉分析による農薬迅速検出法 東京都水道局	腰塚 昭春
8-51	三次元励起蛍光マトリクス法とPARAFAC解析を用いた油類の簡易分析 大阪市水道局	春田 知昭
8-52	水源水質事故時における陰イオン界面活性剤の迅速測定法の検討 大阪市水道局	前田 伊佐武

10月26日（金）午前 計12題

第 8 会場

水質部門（塩素臭）
9:00～9:45（計3題）
座長：国立保健医療科学院上席主任研究官 浅見 真理

8-41	水道水の塩素臭を含む臭気強度に関する調査 千葉県水道局	水野 俊彦
8-42	栗山浄水場浄水における揮発性結合塩素と臭気強度の関係 千葉県水道局	川田 裕紀子
8-43	新潟市のおいしい水への取り組み －浄水場職員を対象とした臭気トレーニングの実施－ 新潟市水道局	今井 美友

水質部門（試験方法①）
9:50～10:50（計4題）
座長：国立医薬品食品衛生研究所部長 五土 良明

8-44	LC-MS/MSによるジスルホトン及びプロチオホスの測定 岐阜県公衆衛生検査センター	早川 和宏
8-45	LC-MS/MSを用いた溶媒添加法による水道水中の陰イオン界面活性剤の分析 三重県環境保全事業団	古川 浩司
8-46	LC-MS/MSを用いた水道水中の陰イオン界面活性剤分析法の検討 横浜水道局	宮本 雅史
8-47	LC-MS/MSによる浄水処理対応難雑物質の分析方法の検討 福岡市水道局	平嶋 宏樹

水質部門（試験方法②）
10:55～12:10（計5題）
座長：麻布大学准教授 大河内 由美子

8-48	フェノール類及び陰イオン界面活性剤の簡易試験法における代替溶媒の検討 埼玉県企業局	関谷 卓見
8-49	効率的な検査体制の構築に向けた取組 －ホルムアルデヒドの検査方法の変更－ 秋田市上下水道局	井上 貴尋
8-50	SPME-GC/MS、LC/MS/MSを使った一斉分析による農薬迅速検出法 東京都水道局	腰塚 昭春
8-51	三次元励起蛍光マトリクス法とPARAFAC解析を用いた油類の簡易分析 大阪市水道局	春田 知昭
8-52	水源水質事故時における陰イオン界面活性剤の迅速測定法の検討 大阪市水道局	前田 伊佐武

10月26日（金）午前 計12題

第 9 会場

リスク管理・災害対策部門（耐震化対策（管路等））
9:00～10:00（計4題）
座長：日本水道協会検査部長兼 品質認証センター長 平本 重夫

9-39	米田断層部における大口径耐震型ダクトル鉄管の設計事例 クボタ	小田 圭太
9-40	活断層変位による埋設管被害の軽減対策 －活断層対策方針（案）の作成－ 金沢市企業局	増田 哲史
9-41	断層用鋼管の漏洩限界に対する安全率に関する一考察 JFEエンジニアリング	長谷川 延広
9-42	不整形地盤にある浄水施設の地盤 －構造連成系動的非線形解析における常時微動を用いた地盤モデルの評価に関する一考察－ 日水コン	寺岡 祐大

リスク管理・災害対策部門（耐震化対策（配水池等））
10:05～11:05（計4題）
座長：日本水道協会工務部長兼 水道技術総合研究所長 芦田 裕志

9-43	神戸市の配水池における耐震計算手法の検討事例 神戸市水道局	水上 和哉
9-44	合理的な耐震診断手法を用いた円形PCタンクの耐震診断 －動的解析による2方向同時加振－ 中日本建設コンサルタント	吉田 圭
9-45	複数の耐震計算法による照査結果の考察事例 三重県企業庁	松本 誠
9-46	新山科浄水場高区配水池の耐震補強に係る設計事例報告 京都市上下水道局	畠中 栄聡

リスク管理・災害対策部門（応急給水）
11:10～12:10（計4題）
座長：日本水道協会水道技術総合研究所 主席研究員 本多 裕孝

9-47	観光地江の島の頂上付近における耐震性貯水槽の設置計画の立案 日本水工設計	笠原 雄司
9-48	災害時給水設備の設置と運用 堺市上下水道局	辻田 和也
9-49	地域防災拠点における飲料水確保の在り方の検討 横浜市水道局	宮杉 潤一
9-50	災害における飲料水供給の取組みと実績 －圧力式砂ろ過浄水技術の有効性の検証－ 日本原料	前田 豊和

10月26日（金）午前 計12題

研究発表の日程 —10月26日（金）午後—

第 3 会 場

計画部門（支援システム等） 13:00～14:00（計4題） 座長：福岡市水道局計画部長 久我 洋一郎	
2-12	新たな維持管理体制の構築 ～広域的管理、公民連携およびシステム 管理の導入 函館市企業局 西山 勝隆
2-13	水道施設向け業務マニュアル作成支援 ツールの検討 日立製作所 三宮 豊
2-14	積算システムの機能拡張による業務改善 の取組 埼玉県企業局 山西 健一
2-15	香川県広域水道企業団における積算業務 システムの検討と導入 香川県広域水道企業団 中尾 信博
10月26日（金）午後 計4題	

第 4 会 場

浄水部門（ろ過） 13:00～14:00（計4題） 座長：日本水道協会大阪支所長 宮内 潔	
4-36	緩速ろ過法における前処理の実証実験 ～上向流粗ろ過を組み合わせた緩速ろ過方 式の除去性能～ 岩手中部水道企業団 千葉 章世
4-37	緩速ろ過システムの安定化と効率化 ～研究施設による実験報告（Ⅲ）～ 盛岡市上下水道局 大崎 瑞希
4-38	緩速ろ過システム安定化に関する共同研 究 ～研究施設による実験報告（Ⅲ-2）～ 日本建研 大橋 伸夫
4-39	ろ過方程式を用いた複数ろ過処理の水処 理性能推定手法に関する調査（Ⅱ） 大阪市水道局 窪田 和義
10月26日（金）午後 計4題	

第 5 会 場

浄水部門（その他） 13:00～14:00（計4題） 座長：横浜国立大学大学院教授 岡崎 慎司	
4-84	CFD解析を用いた混和池内の流れ場と 薬品混和の評価 ウオーターテック 藤本 正巳
4-85	混和池におけるRB式フラッシュミキ サーの有効性に関する検討（Ⅱ） メタウォーター 久本 祐資
4-86	クリプトスポリジウム対策を目的とした 浄水場濁度管理への粒子計の活用 横浜市水道局 浅野 峰子
4-87	かび臭濃度の計画的かつ柔軟な監視方法 と浄水処理への反映 大分市上下水道局 熊笹御堂 剛
10月26日（金）午後 計4題	

第 6 会 場

導・送・配水部門（震災対策） 13:00～14:00（計4題） 座長：福岡市水道局浄水部長 近藤 隆司	
5-50	液状化時の管への作用荷重に関する模型 実験 神戸大学大学院 銀田 泰子
5-51	基幹管路の耐震適合性評価手法 岡山市水道局 仁尾 彰一郎
5-52	大規模地震時の水道管路被害予測に関す る研究 ～関西大学・高槻市・島本町による共同 研究～ 関西大学 窪田 諭
5-53	名古屋市における水道管路付属設備の地 震対策 名古屋市上下水道局 小川 将司
10月26日（金）午後 計4題	

第 7 会 場

導・送・配水部門（管路工事等②） 13:00～14:00（計4題） 座長：福岡市水道局配水部長 石橋 隆	
5-105	口径800mm配水本管布設工事（シールド 工事）の施工事例 奈良市企業局 砂田 正平
5-106	海底送水管の破断事故から復旧まで （Ⅰ） ～仮復旧工事と本復旧工事の課題～ 福山市上下水道局 小泉 満
5-107	海底送水管の破断事故から復旧まで （Ⅱ） ～仮復旧工事後の問題解決と本復旧工事 ～ JFEエンジニアリング 山口 喜堂
5-108	ダクタイル鉄管の水道工事における発生 土利用の研究 クボタ 奥村 勇太
10月26日（金）午後 計4題	

第 8 会 場

水質部門（試験方法③） 13:00～14:00（計4題） 座長：国立医薬品食品衛生研究所室長 小林 憲弘	
8-53	シアン化物イオンと塩化シアンの混合標 準液の調製及び一斉分析の検討 神奈川県企業庁 平岩 俊也
8-54	水道水中のフッ素分析における妨害ピー クの挙動と脱塩素剤の検討 千葉県衛生研究所 豊崎 緑
8-55	漏水調査における残留塩素の確認方法の 検討 広島県企業局 杉野 秀治
8-56	緊急時における水道クリプトスポリジ ウム試験法の迅速化に係る検討 埼玉県企業局 三上 雅人
10月26日（金）午後 計4題	

第 9 会 場

計画部門（小規模水道） 13:00～14:00（計4題） 座長：東北工業大学学長 今野 弘	
2-36	小規模集落における運搬給水の実施 宮崎市上下水道局 末永 慎一郎
2-37	小規模水供給システムの維持管理の実 態に関する調査 国立保健医療科学院 浅見 真理
2-38	鳥取県智頭町の小規模集落における水 供給システムの現状と住民意識調査 鳥取大学 野坂 幸寿
2-39	多様な給水手法の検討 広島市水道局 板本 真治
10月26日（金）午後 計4題	

※ 第1会場と第2会場の研究発表はなし。

部門別発表数

事務49、計画39、水源・取水22、浄水87、導・送・配水108、給水装置25、機械・電気・計装21、水質56、リ
スク管理・災害対策50、英語8、計465

※発表論文のタイトルおよび発表者とその所属は9月1日現在のものです。

発表者各位へ

- 発表するセッションの開始1時間前（午前最初のセッションは30分前）までに該当発表部門の会場受付へお
越しくください。
- 研究発表時間は1人12分間で質疑応答時間は3分です。
- 研究発表終了後も質疑応答が終了するまで必ず発表者席で待機してください。
- 発表者の欠席などにより発表時間が繰り上がることがあります。
- 欠席する場合は必ず前もってご連絡ください。登壇者の変更は共同執筆者に限ります。